



SCHOOL ROUNDTABLE IN ASAHI HALL

首都圏女子実力校フォーラム

～ 国語入試で何が問われたか～

開催のお知らせ

日時

2011年

3月5日(土) 午後14:00スタート(受付開始13:30)

会場

アルカディア市ヶ谷 私学会館

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 TEL.03-3261-9921(代)

座談会
参画校

- 鷗友学園女子中学校・高等学校
- 大妻中学校・高等学校
- 昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校
- 女子聖学院中学校・高等学校
- 日本女子大学附属中学校・高等学校

〈五十音順〉

※各校代表者および国語科主任が出席されます。

司会

森上 展安 森上教育研究所所長

料金

無 料

PROGRAM

13:30～ 受付開始

14:00～ 開会の辞・挨拶・学校紹介 (5分) 森上教育研究所所長 **森上 展安** 氏

14:05～ 国語入試解説 (15分)・各校理念発表 (3分) [計18分×5校 合計90分]

休憩 (5分)

15:40～ 傾向と対策 **森上教育研究所** (5分)

15:45～ 質疑応答 (30分)

16:15 終了

お申込
方 法

下記必要事項をFAXあるいはメールにてお知らせください。

①参加者氏名 ②お子様の学年 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス
→FAX 03-3861-3233 →メール syutoken@k-cm.co.jp

——首都圏女子実力校フォーラム開催にあたり——

毎年「首都圏女子実力校」フォーラムと題し、都内の有名女子校による公開座談会を開催し、ご好評いただいております。

この度、3月5日(土)14:00より、アルカディア市ヶ谷私学会館におきまして、「週刊朝日」連載特別企画「選ばれる私学・首都圏女子実力校フォーラム」～国語入試で何が問われたか～と題し、森上教育研究所・森上展安氏の司会で、各校の国語入試の解説とともに、入試問題に込められた教育理念と学校の魅力を大いに語っていただくフォーラムを開催させていただくことになりました。今回も伝統・人気・進学に優れた都内の名門女子校の代表者(校長または教頭)・国語科主任にお集まりいただくことになりました。

このフォーラムで多くの皆様が諸先生方の生の声を通じて、各校に対するご認識とご理解をより一層深めてくださることを願っています。

◎主催/株式会社シーエム ◎後援/協力/森上教育研究所

参加校紹介

●鷗友学園女子中学校・高等学校

1935(昭和10)年、東京府立第一高等女学校(現・都立白鷗高校)の同窓会組織鷗友会によって設立。初代校長・市川源三は、「女性である前にまず一人前の人間であれ」「社会の中で自分の能力を最大限発揮して活躍する女性になれ」と説いた。ミッションスクールではないが、二代校長・石川志づが内村鑑三・津田梅子の薫陶を受けたことから、キリスト教精神に基づく全人教育を提唱し、これを伝統として受け継ぐ。校訓は、「慈愛(あい)と誠実(まこと)と創造」。

●大妻中学校・高等学校

1908年(明治41年)に大妻コタカが開いた裁縫・手芸の家塾が前身。学祖が身をもって実践した「母性の涵養」は、女性に対してより多様な多面的な生き方が求められている現在においても、世界に共通する「豊かな心」の育成と鍛錬の重要性を指し示しており、新しい時代における女子教育の基盤を成すべきものである。校訓「恥を知れ」には、自己の人格を高め、深い知性と気高い品性をそなえた女性に育てほしいという、大妻コタカの教育への熱い思いが込められている。

●昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校

1920(大正9)年、人見圓吉が、ロシアの文豪トルストイがつくったヤースナヤ・ポリャーナ学校を教育の理想とし、日本文化の創造と人類福祉の増進のために自ら進んで貢献する女性を育成しようと創設した日本女子高等学院が前身。そのため、一週間の「学寮研修」や「朋友班活動」など、全人教育のためのユニークな教育活動を実践。建学の精神は「世の光となろう」で、「清き気品・篤き至誠・高き識見」が教育目標。幼稚園から大学・大学院までが併設されている。

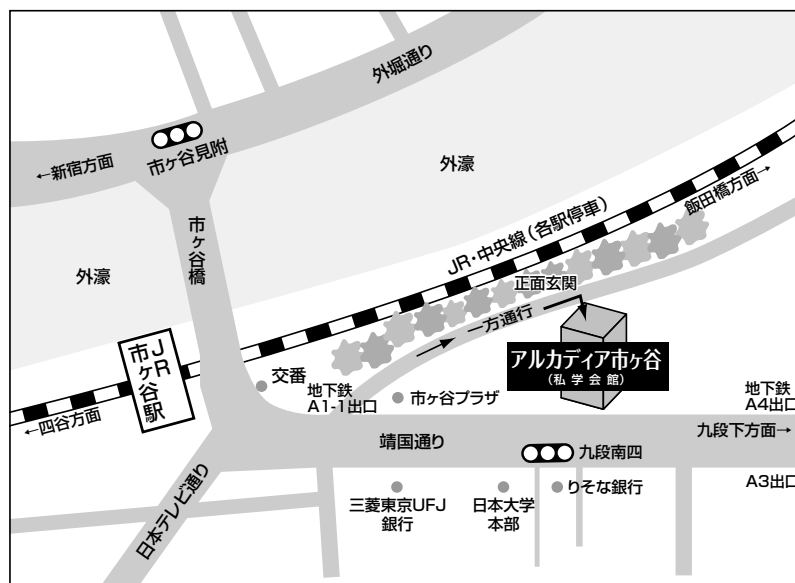
●女子聖学院中学校・高等学校

1905(明治38)年、米国のプロテスタント教会の援助を受け、「日本の女子のためのキリスト教大学、もしくはいろいろな分野で責任を取れる若い女性を養成する学校」として、教会から派遣された宣教師によって開校された。「神を仰ぎ、人に仕う」をモットーに、キリスト教を基盤にした人間教育を実践。神と人によりよく仕えるためには、可能な限りの高い志操、広い視野、深い思索をもつことが必要であるとの理念が受け継がれている。2007年12月、創立100周年事業の新校舎が完成。

●日本女子大学附属中学校・高等学校

1901年(明治34年)日本女子大学の開校とともに附属高等女学校が開校された。本学の創立者 成瀬仁蔵は、女子高等教育の方針として次の三点をあげている。「女子を人として教育すること・女子を婦人として教育すること・女子を国民として教育すること」また、人格教育を基本とした女子高等教育のモデル校として、本学の発展と充実に努めた。「自ら考え、自ら学び、自ら行う」。この「自念自動」の教育方針は、創立者が1901年の創立時に唱えたもので、100年を経た現在でも教育の根幹として受け継がれている。幼稚園から大学まで系統立てた教育を行い、2008年には創立者・成瀬仁蔵生誕150周年を迎え、記念行事を実施。

(五十音順)



交通のご案内

- 東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷駅」A-1出口 徒歩2分
- 都営新宿線「市ヶ谷駅」A1-1、A4出口 徒歩2分
- JR中央線「市ヶ谷駅」 徒歩2分

アルカディア市ヶ谷
(私学会館)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
TEL 03-3261-9921 FAX 03-3261-9931
URL <http://www.arcadia-jp.org/>